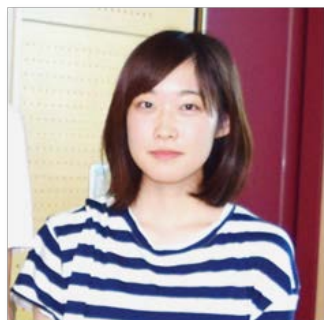


環境建設工学科 在学生の声



杉野 和可子（すぎの わかこ）さん

出身県・高校：愛媛県・松山東高等学校

コース：土木工学コース

学年：4回生

進学：愛媛大学大学院

土木工学コースの志望理由と将来のキャリアパス

受験生のころには建築関係に興味があり、建物の設計等の仕事に携わりたいと考えていました。そこで地元愛媛県で建築・デザインを学べる学科ということで、環境建設工学科土木工学コースを志望しました。入学してから学んだ内容は幅広い土木・環境分野でしたが、スケールの大きな土木構造物の建設、材料の耐久性や構造物の長寿命化に非常に興味がわき、今では入学してからこのコースで学んだことを将来のキャリアに生かしたいと思っています。

大学卒業後の進路として、就職か進学か大変悩みましたが、指導教員や研究室のメンバーにも恵まれた環境で自分の知識・技能を高めてい

きたいと思い、大学院進学を決めました。将来はゼネコンに就職して、施工管理として現場で活躍したいと思っています。

大学の授業

<3 回生後学期 ブリッジコンテスト>

学部3 回生の時にブリッジコンテストを行いました。実際に既設の橋梁を視察して、良い点・改善点をグループで話しあい、CAD を使ってその改善案を設計しました。私たちのグループでは写真のような橋梁を製作し、最後に耐力試験を行いました。グループワークの授業で、班員のみんなと協力して木材を購入することから始まり、設計を進め、図面に基づいて実際に橋梁を制作することの難しさともものづくりの楽しさを感じた授業でした。最後には、自分たちで製作した橋梁に荷重を加えてどこまで耐えることができるかを見る楽しさを感じました。

留学生との交流など

学部3回生までの授業ではあまり留学生と関わる機会はありませんが、4回生になって研究室に配属されると、どの研究室でも数名の留学生が在籍しているのが環建の特徴です。

私が配属された研究室では、インドネシアやザンビアから留学している学生が在籍していて、実際に英語で会話する機会も増え、留学生の母国のことなど、研究内容以外の何気ないおしゃべりもとても楽しいです。語学力だけでなく自然に国際感覚を身に着けることができると思います。

環建ライフの良いところ

他学科と比べると授業は多いと思いますが、例えば、構造力学や建設材料学など専門的な授業や、ブリッジコンテストや実験・実習といった座学で習得した知識を生かす機会もあり、理解が深まるようなカリキュラム設計になっていて楽しく学ぶことができると思います。また、工学部のなかでも英語の授業が多くカリキュラ

ムに取り入れられていて、専門教育とともに英語に触れる機会もたくさんあります。

受験生の皆さんにメッセージ

座学だけでなく実験などもあり、ものづくりへの興味もいっそう深まります。入学前は自分の将来に対して大雑把なビジョンしかなくても、授業で教職員の方の話を聞いたり、先輩・後輩や同級生と大学生活を送ったりする中で少しずつ夢に近づけると思います。大学生活が実りあるものになるように、学科の手厚いサポートを受けられるのも魅力です。学科の雰囲気を知るためにも、オープンキャンパスに来てみてはいかがでしょうか。

